

伊勢神宮に献上する海産物

伝承によると、皇女、倭姫命（やまとひめのみこと）は、二千年前に伊勢神宮を建立した後、神社の供物にふさわしい品を供給できる土地を求めて伊勢志摩地域をめぐりました。倭姫命は、溪流および暖流である黒潮のそばに位置しているため栄養豊富な伊勢湾の数多くの入り江と港を理想的な産地と考えました。今日まで、これらの地域は神社にアワビ、食用の海藻、貝類など、多種多様な海の恵みを提供し続けています。